

平成28年度秋田県教育委員会免許法認定講習開催要項

1 目 的

教育職員免許法の規定に基づき、現職教育職員等に対し、上位免許状等の取得に必要な単位を修得させる機会を与えるとともに、併せて資質の向上を図る。

2 開設者

秋田県教育委員会

3 会 場

秋田大学教育文化学部 秋田県秋田市手形学園町1-1

秋田県立視覚支援学校 秋田県秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

秋田県立聴覚支援学校 秋田県秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

4 開設科目・期日・時間割等

「開設科目一覧」（別紙1）及び「時間割表」（別紙2）のとおり。

5 受講対象者

（1）秋田県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校及び幼保連携型認定こども園に勤務する教育職員で、取得しようとする免許状の種類に応じ、必要な基礎資格を有する者

（2）その他、特に適当と認める者

6 受講料等

受講料は無料とする。

ただし、テキスト代や教材費等の実費が発生する場合は受講者の負担とする。

7 成績審査の方法及び単位授与等

（1）出席時間・・・ 教育職員免許法施行規則第38条の規定により、当該科目について定めた授業時間の5分の4以上出席することが必要。

（2）成績審査・・・ レポート等を提出し、審査に合格した者について1単位授与する。

（3）評価段階と合格区分・・・ A、B、C、Dの4段階評価とし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。

なお、出席時間が規定に満たない者及び期限までにレポート等を提出しない者は、成績審査及び単位授与の対象としない。

8 服務態様

（1）本講習の秋田県立学校の教職員の受講に際しては、職務に専念する義務の特例に関する条例（昭和26年3月26日条例第五号）第2条第1号の規定に基づき、職務に専念する義務を免ずる。

（2）市町村立学校の教職員の受講については、当該市町村が定めるところによる。

9 留意事項

- (1) 複数の科目の受講を希望する場合には、授業日の日程が重ならないことを確認し、受講科目については、取得しようとする免許状に必要なかを十分検討すること。
- (2) 申込者多数の場合は、選考により受講者を決定する。
- (3) 申込者が数名の科目は、講習を中止する場合がある。
- (4) 受講許可後の辞退は原則として認めない。事前に研修・学校行事等の日程を確認した上で申し込むこと。
- (5) やむを得ない事情により欠席する場合は、事前連絡の上、速やかに秋田県教育庁義務教育課宛に、欠席届を提出すること。
- (6) 正当な理由なく、無断欠席、レポートの未提出等の受講の放棄をしないこと。また、レポートの提出期限は厳守すること。
- (7) 申込をしない者又は受講を許可されなかった者の、講習当日における会場での受講希望には一切対応しない。
- (8) 宿泊施設の斡旋は行っていない。必要がある場合は各自手配すること。
- (9) 受講の可否については7月上旬に通知する。
- (10) **本講習は、教員免許更新講習ではない。**

10 受講申込手続き

受講希望者は、別紙の受講申込書により下記あてに申し込むこと（電話申し込み不可）。**北海道及び東北各県からの受講希望者は、各道県に取りまとめを依頼してあるので、必ず各道県教育委員会を通して申し込むこと。**

【提出書類】

- (1) 平成28年度秋田県教育委員会免許法認定講習受講申込書
受講希望科目により、（特支科目以外）用又は（特支科目）用を作成すること。
- (2) 返信用封筒（受講可否書類送付用、学力に関する証明書送付用として）
長形3号(120×235)を**2通**
92円分の切手を貼付×1通、82円分の切手を貼付×1通とする。
いずれも宛先を明記すること（宛名には「様」を付けること。）。

※秋田県内の県立特別支援学校に勤務する者は、原則として学校単位で申し込むこと。
この場合の返信用封筒は、角型2号サイズに140円分の切手を貼付×2通とし、宛先を学校長とすること。

※書類を郵送する際は、封筒の表書きに**「免許法認定講習申込書類在中」と朱書き**すること。

【提出期限】

平成28年6月24日（金）必着

【提出先（問い合わせ先）】

〒010-8580 秋田市山王三丁目1-1 秋田県教育庁義務教育課 調整企画・教員免許班（認定講習担当） TEL：018-860-5141 FAX：018-860-5136
--

平成28年度秋田県教育委員会免許法認定講習開設科目一覧

会場名		秋田大学教育文化学部								
No.	免許状の種類	別表第8 対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		開設科目名	授与単位	授業日		講 師	受講定員数
			科 目	各科目に含める 必要事項	中心となる領域		授業時間数			
					含む領域		必要出席時間数			
1	幼一・二種免 小一・二種免	×	教科 国語		初等国語 (H28認定講習)	1	8／20(土) ・ 8／21(日)	秋田大学教育文化学部 教授 成田 雅樹	30 (人)	
							16h			
							13h以上			
2	幼一・二種免 小一・二種免	×	教職 教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論Ⅰ (H28認定講習)	1	8／11(木) ・ 8／12(金)	秋田大学教育文化学部 准教授 細川 和仁	30 (人)	
							16h			
							13h以上			
3	小一・二種免 養教一・二種免 栄養一・二種免	○ －	教職 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	児童の理解と指導 (H28認定講習)	1	8／9(火) ・ 8／10(水)	秋田大学教育文化学部 准教授 清水 貴裕	30 (人)	
							16h			
							13h以上			
4	幼一・二種免 小一・二種免 中一・二種免 高一種免	×	教科又は教職 教科又は教職に関する科目		自然災害と防災教育 (H28認定講習)	1	8／22(月) ・ 8／23(火)	秋田大学教育文化学部 教授 林 信太郎	30 (人)	
							16h			
							13h以上			
5	幼一・二種免 小一・二種免	×	教科又は教職 教科又は教職に関する科目		初等英語科教育学 (H28認定講習)	1	8／22(月) ・ 8／24(水)	秋田大学教育文化学部 教授 佐々木 雅子	30 (人)	
							16h			
							13h以上			
6	特支一・二種免 (病弱者)	－	特支 特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	病弱者教育総論 (H28認定講習)	1	8／11(木) ・ 8／12(金)	秋田大学教育文化学部 准教授 藤井 慶博	30 (人)	
					病弱者		16h			
					肢体不自由者		13h以上			
7	特支一・二種免 (視覚障害者) (聴覚障害者) (知的障害者) (肢体不自由者) (病弱者)	－	特支 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		LD・ADHD等教育総論 (H28認定講習)	1	8／16(火) ・ 8／17(水)	秋田大学教育文化学部 准教授 藤井 慶博	30 (人)	
					重複・LD等領域		16h			
							13h以上			

※ LD・ADHD等教育総論の教育(H28認定講習)には、重複障害・言語障害、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害の内容を含む。

会場名		秋田県立視覚支援学校								
No.	免許状の種類	別表第8 対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		開設科目名	授与単位	授業日	講 師	受講定員数	
			科 目	各科目に含める 必要事項	中心となる領域		授業時間数			
					含む領域		必要出席時間数			
8	特支一・二種免 (視覚障害者)	一	特支	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある 幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	1	視覚障害者への心理・生理・病理と支援 (H28認定講習)	8/1(月) ・ 8/2(火)	宮城教育大学教育学部 准教授 永井 伸幸	30 (人)
							視覚障害者	16h		
								13h以上		
9	特支一・二種免 (視覚障害者)	一	特支	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある 幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	1	視覚障害者の教育概論 (H28認定講習)	8/4(木) ・ 8/5(金)	宮城教育大学 名誉教授 猪平 眞理	30 (人)
							視覚障害者	16h		
								13h以上		

会場名		秋田県立聴覚支援学校							
No.	免許状の種類	別表第8 対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		開設科目名	授与単位	授業日	講 師	受講定員数
			科 目	各科目に含める 必要事項			中心となる領域 ----- 含む領域		
10	特支一・二種免 (聴覚障害者)	—	特支 特別支援教育 領域に関する 科目	心身に障害のある 幼児、児童又は生 徒の教育課程及び 指導法に関する科 目	聴覚障害教育総論 (H28認定講習)	1	8／1(月) ・ 8／2(火)	東京成徳大学応用心理学部 教授 中山 哲志	30 (人)
					聴覚障害者		16h		
					-----		13h以上		

平成28年度秋田県教育委員会免許法認定講習時間割表等

【時間割】

○講義日程が2日間の科目

日程	第1時限 8:50 ～10:20	休憩	第2時限 10:30 ～12:00	昼食	第3時限 12:50～14:20	休憩	第4時限 14:30～16:00
第 1 日	講義又は演習①②③④⑤⑥⑦⑧						
第 2 日	講義又は演習⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯						
レポート提出日（講義等最終日の2週間後）							

○講義日程が3日間の科目（初等英語科教育学）

日程	第1時限 8:50 ～10:20	休憩	第2時限 10:30 ～12:00	昼食	第3時限 12:50～14:20	休憩	第4時限 14:30～16:00
第1日			講義①②③④⑤⑥				
第2日			講義⑦⑧⑨⑩⑪⑫				
第3日			講義⑬⑭⑮⑯				
レポート提出日（講義最終日の2週間後）							

【携行品等】

担当講師から事前に指示のあるものについて記載しています。追加や変更等がある場合には、受講許可時にお知らせします。

初等国語 (H28認定講習)	小学校学習指導要領解説国語編、筆記用具
教育課程論Ⅰ (H28認定講習)	教科書として『よくわかる教育課程』（田中耕治編、ミネルヴァ書房）を入手し、「XIII. 学習指導要領の変遷」を予習しておくこと
自然災害と防災教育 (H28認定講習)	『人が死なない防災』（片田敏孝著、集英社新書）を津波災害の教科書として使用するため、事前に購入すること
初等英語科教育学 (H28認定講習)	授業で使用するため、『小学校の外国語活動 基本の「き」』（酒井英樹著（2014）、大修館書店）を購入すること

平成28年度秋田県教育委員会免許法認定講習受講申込書(特支科目以外)

勤務校(園)名		TEL:			
ふりがな				職名	
氏名					
生年月日		S・H (西暦 年 月 日)	本籍地	都・道 府・県	
現住所		(〒)			
最終学歴		S・H 年 (教育機関名) 卒業・修了			
採用年度等		昭和・平成 年度採用 (在職: 年)			
基礎 資 格	現在所有している免許 状の種類(教科)及びそ れに係る在職年数	例: 中二種(社会) 10 年	() 年	() 年	() 年
		() 年	() 年	() 年	() 年
	栄養教諭免許取得希望 者は該当項目を記入。 (免許法附則18項参照)	管理栄養士免許証	年 月取得済み		
		栄養士免許証	年 月取得済み		
取得希望免許状(教科)		教諭 種 免許状 (教科等:)			
修得済み単位数 (基礎資格取得後に修得し た取得希望免許状に係る 単位について記入。)		教科に関する科目	単位	養護に関する科目	単位
		教職に関する科目	単位	栄養に係る教育に 関する科目	単位
受講申込科目 ※別紙開設科目一覧の 「開設科目名」を記入 すること。		1	(受講希望 科目中 位)		
		2	(受講希望 科目中 位)		
		3	(受講希望 科目中 位)		
		4	(受講希望 科目中 位)		
		5	(受講希望 科目中 位)		
備考(通信欄)					
上記のとおり記載事項に相違ないことを証明します。合わせて受講することを承認します。 平成28年 月 日 学校(園)名 <div style="text-align: right;">校長(園長)名 印</div>					

(注)

- ・本申込書は、1名につき1葉(特別支援教育に関する科目は別葉とする)作成し、複数の科目の受講を希望する場合は、必ず受講申込科目欄の受講希望科目数と受講希望順位を記入すること。
- ・臨時講師等の場合は、採用年度は空欄とし、通算在職年数のみ記入すること。
- ・免許法附則第9項により、高一種免(実習教科)を取得するための単位は、基礎資格修得後のものに限る。
- ・看護師、保健師又は准看護師免許を有している場合は、備考欄にその旨を記入すること。
- ・受講許可後の辞退は原則として認めないので、他の研修・学校行事等の日程を確認の上で申し込むこと。

平成28年度秋田県教育委員会免許法認定講習受講申込書(特支科目)

勤務校(園)名	TEL:					
ふりがな					職 名	
氏 名						
生 年 月 日	S・H (西暦	年 (年)	月	日	本 籍 地	都・道 府・県
現 住 所	(〒)					
採 用 年 度 等	昭和 ・ 平成 年度採用 (在職: 年)					
歴 任 校 等	[例] 小学校(講師) 2年					
※校種・職名・在職年数を簡潔に記入。						
基 礎 資 格	[例1] 中一種 (社会)		[例2] 特支二種(知・肢・病)		()	
※現在所有している免許状の種類(教科等)を略記。	()		()		()	
	()		()		()	
取得(又は新教育領域の追加)希望免許状	特別支援学校教諭 免許状 ※左記空欄に一種又は二種と記入					
教育領域名(該当箇所を○)	(視覚障害者 ・ 聴覚障害者 ・ 知的障害者 ・ 肢体不自由者 ・ 病弱者)					
修得済み単位 ※既に修得している「特殊教育に関する科目」及び「特別支援教育に関する科目」について、交付されている学力に関する証明書(単位修得証明書)を参照して記入。	単位修得機関	修得年度	法定科目区分	科目名	免許状の種類	単位数
受講申込科目 ※別紙開設科目一覧の「 開設科目名 」を記入すること。	1	(受講希望 科目中 位)				
	2	(受講希望 科目中 位)				
	3	(受講希望 科目中 位)				
	4	(受講希望 科目中 位)				
	5	(受講希望 科目中 位)				
備 考 (通 信 欄)						
<p>上記のとおり記載事項に相違ないことを証明します。合わせて受講することを承認します。</p> <p>平成28年 月 日 学 校 (園) 名</p> <p style="text-align: right;">校長(園長)名 印</p>						

(注)

・本申込書は、特別支援教育に関する科目の受講を希望する者が作成し、複数の科目の受講を希望する場合は、必ず受講申込科目欄の受講希望科目数と受講希望順位を記入すること(1名につき一葉とする)。

・臨時講師等の場合は、採用年度は空欄とし、通算在職年数のみ記入すること。

・修得済み単位欄は次の事項に留意して記入すること。

(1)単位修得機関は、「〇〇県免許法認定講習」、「△△大学通信教育(課程名)」のように記載する。

(2)法定科目区分は、免許法施行規則第7条を参考の上、「基礎理論」、「心理等」、「教育課程等」、「重複・LD等」のように略記する。

(3)免許状の種類は、「養学一・二種」、「盲一・二種」、「特支一・二種(知的)」のように授与時の名称で略記する。

・受講許可後の辞退は原則として認めないので、他の研修・学校行事等の日程を確認の上で申し込むこと。